

# 万代高 CS 通信

令和7年2月21日

No.3

2月17日(月)に今年度最後の第3回学校運営協議会(通称:CS会議)を実施しました。

## 1:開会挨拶 田村校長

学校によっては5回開催しているところもあり、学校評議員会とは違う会議をこれからも展開していきたいと思う。

## 2:会長挨拶 川崎会長

先日CS講座に参加してきた。子どものできること・やりたいことを見つけること、部活動地域移行には地域の人材が必要などの学びがあった。

## 3:協議 等

### (1)後期並びに年間学校評価について【報告】

○文部科学省よりDXハイスクールの指定を受け、コミュニケーションルームを作った。これにより、オンラインで繋いだ外部講師にも生徒の取組を観てもらいながらアドバイスしてもらえたり、席が自由に動かせるので、グループワークがしやすく意見も活発にできる環境ができたりしている。デジタル化した学びの機会を広げていきたい。



○海外留学の機会が英語理数科だけ

でなく、普通科の生徒にも参加希望が拡大している。

○1年次総合的な探究の時間では、地域の企業から探究サポーターとして関わっていただき、今年度もバラエティに富んだ取組・発表が行われた。もっと質の向上にも努めていきたい。

○進学指導は、成績による進路決定ではなく、将来のビジョンを見据えた進路を生徒にアドバイスするようになってきている。

○生徒、保護者から選ばれる高等学校になるよう、中学校などへPRしてきた。

### (2)「地域と学校パートナーシップ事業」について【報告】

○「沼垂まつり」へのラグビー部や書道部の参加や協力が、地域の人たちに非常に喜ばれた。

○沼垂地域の学校園の連携を図る拠点作りに動き出した。今後も地域を生かした、人材育成を学校園間の連携も広げて推進していきたい。

○地域連携のための、生徒・教職員の意識向上、十分な時間の確保などが課題。

### (3)令和7年度学校運営の基本方針【承認】

→承認されました。

### (4)その他

～ここまでの中で出た意見や質問～

○キャリア教育の指導について、成績で行ける大学を薦めるという従来のやり方から、大学の先にある将来やりたいこと、なりたい職業を見据えた、そのための進学を薦めるやり方に変わったと聞いて素晴らしいと思った。

○進路の先生が親身になって生徒の進路を考えてくれるのは生徒にとっても嬉しいと思う。

○地域の中に高校生が入ってくれるのは、地域にとっての活性化にもなる。

○高校生が小学校などで勉強を教えてくれたりすると、子どもはとても喜ぶ。小学校の先生たちも受け入れに対して非常に前向きである。

○先生に進路や、勉強について相談したりできる雰囲気はあるか？→時間割の変更を行なったことで放課後の時間が増え、生徒が放課後に教員へ質問したり相談に行ったりする場面を多く見るようになった。

4：学校・地域を語る会（フリートーク）

- 学校周辺での自転車の乗り方の指導をお願いしたい。時折危ない運転、並んでの走行が見られる。
- 校則の変更は中学校などでも行われているが、生徒たちが納得した上で決めていく必要がある。校則の中で多くを占める制服に関する事項に関しても、万代高校では制服のバリエーションを増やし、選択肢の自由度を増やしていく方向である。

5：その他

○現在学校運営協議会は10名で進行しているが、最大15名となっているので、どんな方に加わってもらったらよいかなどのご意見などがあれば聞かせてほしい。

6：閉会

※学校運営協議会とは

保護者、地域、学校が一体となって子どもの成長を支える体制を築き、「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」を目指した「地域とともにある学校」づくりを進める制度です。

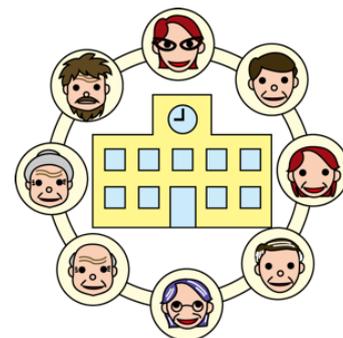


(新潟市教育委員会 生涯学習推進課 HP より抜粋)

第3回 令和7年2月17日(月) 15～16時

CS会議参加者

- 会長 川崎 博之 (後援会長)
- 竹田 陽子 (沼垂小学校地域教育コーディネーター)
- 山崎 正人 (沼垂小学校区コミュニティ協議会副会長・元東新潟中学校PTA会長)
- 田村 裕司 (校長)
- 島 和宏 (教頭)
- 長谷川 直之 (事務長)
- 事務員 司山 園美 (万代高校地域教育コーディネーター)



「CS 通信」や「地域と学校パートナーシップ事業」などに関して、お気軽にお問い合わせください。

CS 通信発行 万代高等学校 地域教育コーディネーター 司山園美  
連絡先 025-241-0193 (代表) / 090-5556-3559 (直通)